県政トピックス

県政の動き

2月11日(火)～4月20日(月)

★写真入りで紹介

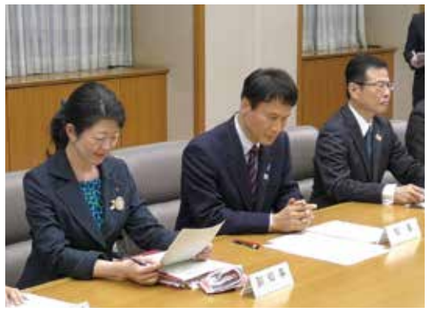
- 2月15日(土) かごしまの"食"交流推進セミナー
- 2月16日(日) ★「かごしま青年塾」意見発表会・閉講式
- 2月16日(日) 知事と語ろう車座対話(指宿市)
- 2月17日(月) ★迫田孝也さんに「薩摩大使」を委嘱
- 2月21日(金) 清華大学留学支援奨学金奨学生の帰国報告
- 2月22日(土) ★鹿児島テックプランター最終選考会
- 2月22日(土)～23日(日) ★令和元年度危機的な状況にある言語・方言サミット(奄美大会)・奄美大島
- 2月24日(月) ★奄美パーク入園者250万人達成セレモニー
- 2月27日(木) ★楽しみながら 健康になる かごしま！動画公開
- 2月28日(金) 在アトランタ日本国総領事来庁
- 3月7日(土) ★平和リース球場のスコアボードリニューアル
- 3月12日(木) 県立農業大学校卒業式
- 3月18日(水) 県立短期大学卒業式
- 3月18日(水) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社との地方創生に係る包括連携協定締結式
- 4月1日(水) 歴史・美術センター黎明館へ名称変更
- 4月16日(木) 新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大に伴い、4月16日、全都道府県を対象とする緊急事態宣言が発令されました。

県では、これまでも新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組むとともに、中小企業に対する資金繰り支援や子育て世代への支援などさまざまな対策を迅速に、切れ目なく展開しております。

皆さまにおかれては、不要不急の帰省や旅行など都道府県をまたいで移動することは避けるよう徹底していただくとともに、冷静な対応をお願いします。また、引き続き、手洗いや咳エチケットの徹底、三つの「密」を避けるなど、感染の拡大防止にご協力をお願いします。


▲新型コロナウイルス感染症に係る対策会議の様子

▲鹿児島県の新型コロナウイルス感染症に関する情報

2/16[日] 「かごしま青年塾」意見発表会・閉講式

地域を支える次世代の鹿児島のリーダーを育成するため実施していた、かごしま青年塾の意見発表会と閉講式が行われました。

塾生は、本県に縁のある各界で活躍する経営者やリーダーの「よりよい『かごしま』づくりに生かす私たちの活動ビジョン」をテーマとした講演や交流を通して、これからの鹿児島を担うリーダーの資質を育んできました。

意見発表会では、塾生が個人の活動を具体化したテーマごとにグループで協議を重ね、一人一人の方策を発表しました。

閉講式では、塾長の三反園知事が塾生にエールを送りました。卒塾生の今後の活動が期待されます。

▲かごしま青年塾の卒塾生ら

▲意見発表会での発表

2/17[月] 迫田孝也さんに「薩摩大使」を委嘱

県では、多彩な魅力を県内外に広くPRしていただくため、情報発信力の高い方に「薩摩大使」を委嘱しており、このたび、鹿児島市出身で俳優の迫田孝也さんに委嘱しました。

迫田さんは、俳優としてドラマや映画、舞台などで幅広く活躍されており、県が東京で開催する「鹿児島の夕べ」などにも、ご協力いただいております。

迫田さんからは「念願の薩摩大使になることができうれしく、また、身が引き締まる思い。地元を離れているからこそ気付く鹿児島の素晴らしさをどんどんPRしていきます」と、今後の大使としての活動に対する抱負をいただきました。

▲「薩摩大使」の委嘱状を受け取った迫田さん

▲迫田さんに鹿児島のPRを依頼

2/22[土] 鹿児島テックプランター最終選考会

科学技術をもとに、世界を変えたい、世の中を良くしたいという熱意を持った起業家を発掘・育成することを目的としたビジネスプラン発表会「鹿児島テックプランター最終選考会」を開催しました。

県として初めての取り組みでしたが、大学の研究者や企業などによる素晴らしいビジネスプランが多数発表されました。表彰式では、アスリートの栄養状態をチェックできる自己採血キットの販売を行っている株式会社KAGO食スポーツが最優秀賞を獲得しました。

県では、今後も起業しやすい環境を整備し、新産業の創出、地域経済の活性化を図ってまいります。

▲ビジネスプランを熱く話す発表者

▲熱心に耳を傾ける参加者

2/22[土]▼23[日] 令和元年度危機的な状況にある言語・方言サミット（奄美大会）・奄美大島

方言について考えるサミットを文化庁との共催により奄美大島で開催しました。本県での開催は、平成28年度の与論大会以来3年ぶりとなります。サミットでは、日本の言語・方言のうち、消滅の危機にある八つの方言(アイヌ、八重山、与那国、八丈、奄美、国頭、沖縄、宮古)について、最新の調査研究成果の発表や、各方言の聞き比べなどが行われたほか、次世代への方言伝承を誓う大会宣言が採択されました。サミットには2日間で約1600名もの方々にご来場いただき、たくさんの方に方言について考えていただく機会となりました。

引き続き、方言の保存・継承に取り組んでまいります。

▲奄美大島各地域の方言の聞き比べ

▲小中学生らによる取り組みの報告

2/24［月］ 奄美パーク入園者２５０万人達成セレモニー

奄美パークでは、2月24日に入園者の250万人達成を記念して、セレモニーを開催しました。

当日は、250万人目となったお客様に、宮崎園長から記念品が贈呈されました。

平成13年に開園した奄美パークは、奄美の世界自然遺産登録を見据え、入園者に奄美の魅力をより感じていただけるよう、展示内容の充実や展示解説の多言語化、バリアフリー対応強化などリニューアルを行いました。

引き続き、奄美の美しい自然や多様な文化、歴史など、奄美群島の魅力の発信に取り組んでまいります。

皆さまのご来園をお待ちしております。

▲くす玉を割って祝う宮崎園長と２５０万人目の来園者ら

▲リニューアルしたアイランドインフォメーション

2/27［木］ 楽しみながら 健康になる かごしま！動画公開

県の多彩な魅力を「健康」をテーマに紹介するウェブ動画「楽しみながら 健康になる かごしま！」を制作しました。

動画は「絶景編」「美食編」「温泉編」があり、各3分程度となっています。

県出身のスポーツキャスター宮下純一さんと鹿児島のアイドルグループ「サザンクロス」がナビゲーターとなり、雄大で美しい絶景の数々や安心・安全で豊富な食、良質な温泉の魅力を紹介しています。また、途中、地元タレントが鹿児島弁でコミカルにうんちくを語る場面も見どころです。

「鹿児島へ行ってみたい、味わってみたい、癒やされてみたい」と思っていただける動画になっていますので、ぜひご覧ください。

▲動画イメージ（宮下純一さんとサザンクロスのメンバー）

▲ユーチューブ「どんどん鹿児島チャンネル」で公開中

▲鹿児島弁でうんちくを語る「おじさん」（ちゃんサネさん）

3/7［土］ 平和リース球場のスコアボードリニューアル

10月に開催される「燃ゆる感動かごしま国体」に向けて改修を進めていた平和リース球場（県立鴨池野球場）のスコアボードが完成しました。

新しいスコアボードは、発光ダイオード（LED）ビジョン方式となり、フルカラー動画や球速の表示なども可能となりました。また、タブレット端末での操作も可能となりました。

観戦者には、ゲームスコアのくっきりとした表示や、迫力のある鮮明な映像を楽しんでいただける施設になりました。

国体では、高校野球（硬式）や成年男子の軟式野球が実施されますので、県民の皆さまのご声援をお願いします。

▲ゲームスコアだけでなく、球速表示も可能に

▲フルカラー動画の表示も可能に